

平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オーネックス  
 コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大屋 和雄  
 (氏名) 鶴田 猛士

TEL 046-285-3664

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	3,932	7.3	300	622.9	306	547.0	182	453.4
26年6月期第3四半期	3,665	0.6	41	△49.8	47	△43.5	33	△2.7

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 213百万円 (443.6%) 26年6月期第3四半期 39百万円 (△27.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	11.04	—
26年6月期第3四半期	2.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第3四半期	8,562	5,292	61.8	319.49
26年6月期	7,836	5,111	65.2	308.57

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 5,292百万円 26年6月期 5,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,191	4.5	300	215.8	310	193.7	193	192.7	11.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期3Q	16,600,000 株	26年6月期	16,600,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年6月期3Q	35,632 株	26年6月期	33,251 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期3Q	16,565,241 株	26年6月期3Q	16,567,641 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の定着化、経済政策の効果に加え原油価格の急速な低下により、企業収益は改善の動きがみられ緩やかな回復基調が続きました。また雇用、所得環境の改善傾向がみられ、消費税増税後の個人消費低迷から持ち直し、設備投資も堅調に推移しました。海外では、米国の消費、生産は着実に増加し、欧州も景気持ち直しの動きが続いています。一方でアジア圏の経済は一段と成長が鈍化し、原油価格低下による産油国経済への影響懸念、世界的な政情の緊迫化等による先行き不透明感が根強く残っています。

このような経済状況の下で、当社グループは、生産性の向上に取組み原価低減を図り収益性向上に努めました。主力取引業界である自動車、建設機械、産業工作機械の中で、建設機械受注は低調に推移しましたが、自動車関連受注は増加、産業工作機械関連受注は引き続き好調に推移したため、売上は前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。また、電力費は高止まりしているものの、ガス等のエネルギーコストは大幅に低下し、その他経費の削減にも努めた結果、前年同四半期連結累計期間と比較して増益となりました。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,932百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益は300百万円（前年同四半期比622.9%増）、経常利益は306百万円（前年同四半期比547.0%増）、四半期純利益は182百万円（前年同四半期比453.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①金属熱処理加工事業

金属熱処理業界においては、円安効果により輸出環境は好転しており、一部国内生産増加の動きがみられるものの、自動車関連業界は、需要拡大地で生産する「現地化」の動きを止めるには至らず、輸出の増加は限定的と思われませんが、足元の円安トレンドやエネルギーコストの低下などから国内既存設備を活用した生産増加の動きがみられました。一方で産業工作機械は主要部品については技術面から国内に軸足を残す企業が多数あり、円安を受け外需の取り込みが拡大しました。こうした動きから、熱処理需要も好調に推移し売上高は前年同四半期比7.7%増加しました。

一方で電気料金は高値推移したものの、ガス価格が大幅に低下し、生産性の向上及び、諸経費削減に取り組み全力で収益の確保に努めました。

風力発電については、増速機用歯車の熱処理を主に手がけておりますが、北米のシェールガス等低価格エネルギー開発や再生可能エネルギー全量固定買取制度の制度面での混乱等から風力発電機事業は停滞しており、前年同四半期比増加しましたが回復には時間を要します。

これらの結果、売上高は3,490百万円（前年同四半期比7.7%増）、セグメント利益は247百万円（前年同四半期は3百万円のセグメント損失）となりました。

#### ②運送事業

運送事業につきましては、道路舗装関連取引先の開拓等受注拡大に努め、機械などの重量物の搬送取り扱いが安定していたため、売上は堅調推移しました。また、軽油価格の低下、備車（外注）便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の効率化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めました。

これらの結果、売上高は442百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益は31百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して726百万円増加し、8,562百万円となりました。これは主に現金及び預金が296百万円増加、土地が437百万円増加したことなどによるものです。

#### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して545百万円増加し、3,270百万円となりました。これは主に、一年以内償還予定の社債が30百万円、社債が55百万円減少したものの、短期借入金が53百万円、賞与引当金が50百万円及び長期借入金が436百万円増加したことなどによるものです。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して180百万円増加し、5,292百万円となりました。これは主に利益剰余金が149百万円、その他有価証券評価差額金が21百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年2月9日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,937,783	2,234,701
受取手形及び売掛金	1,727,059	1,761,394
製品	9,925	15,647
仕掛品	41,959	25,076
原材料及び貯蔵品	89,639	79,868
繰延税金資産	13,650	37,334
その他	108,924	108,655
貸倒引当金	△337	△337
流動資産合計	3,928,604	4,262,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	876,607	834,861
機械装置及び運搬具(純額)	336,060	323,177
土地	1,838,851	2,275,851
リース資産(純額)	142,870	133,625
その他(純額)	86,775	120,624
有形固定資産合計	3,281,165	3,688,140
無形固定資産	145,262	113,868
投資その他の資産		
投資有価証券	208,147	236,585
繰延税金資産	153,669	136,159
その他	118,646	118,791
投資その他の資産合計	480,463	491,536
固定資産合計	3,906,891	4,293,545
繰延資産	965	6,789
資産合計	7,836,461	8,562,677

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	388,554	390,561
短期借入金	257,252	310,742
1年内償還予定の社債	178,000	148,000
未払金	136,692	137,603
未払費用	218,516	234,861
未払法人税等	70,681	111,003
賞与引当金	17,408	67,954
その他	164,751	193,344
流動負債合計	1,431,856	1,594,071
固定負債		
社債	223,000	167,500
長期借入金	446,242	883,048
退職給付に係る負債	456,167	470,268
その他	167,269	155,581
固定負債合計	1,292,678	1,676,397
負債合計	2,724,534	3,270,469
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,496,797	3,646,607
自己株式	△4,878	△5,237
株主資本合計	5,083,713	5,233,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,042	62,000
退職給付に係る調整累計額	△11,829	△2,957
その他の包括利益累計額合計	28,212	59,043
純資産合計	5,111,926	5,292,207
負債純資産合計	7,836,461	8,562,677

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	3,665,247	3,932,424
売上原価	2,787,895	2,854,881
売上総利益	877,352	1,077,542
販売費及び一般管理費	835,782	777,029
営業利益	41,569	300,513
営業外収益		
受取利息	3,513	2,973
受取配当金	1,516	1,864
受取賃貸料	5,801	6,038
スクラップ収入	7,112	6,251
その他	7,619	7,754
営業外収益合計	25,564	24,883
営業外費用		
支払利息	12,839	11,453
支払手数料	6,003	6,032
社債発行費	809	809
その他	38	144
営業外費用合計	19,691	18,439
経常利益	47,442	306,956
特別利益		
固定資産売却益	5,477	9,641
投資有価証券売却益	4,284	—
特別利益合計	9,761	9,641
特別損失		
固定資産除却損	132	3,120
その他	—	114
特別損失合計	132	3,234
税金等調整前四半期純利益	57,071	313,363
法人税、住民税及び事業税	58,527	145,645
法人税等調整額	△34,510	△15,225
法人税等合計	24,016	130,420
少数株主損益調整前四半期純利益	33,055	182,943
四半期純利益	33,055	182,943



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,055	182,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,269	21,958
退職給付に係る調整額	—	8,872
その他の包括利益合計	6,269	30,830
四半期包括利益	39,324	213,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,324	213,774
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,239,082	426,165	3,665,247	—	3,665,247
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	192,746	192,746	△192,746	—
計	3,239,082	618,911	3,857,993	△192,746	3,665,247
セグメント利益又は損失(△)	△3,500	33,436	29,935	11,633	41,569

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額11,633千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,490,040	442,383	3,932,424	—	3,932,424
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	197,674	197,674	△197,674	—
計	3,490,040	640,058	4,130,099	△197,674	3,932,424
セグメント利益	247,295	31,006	278,302	22,210	300,513

(注) 1. セグメント利益の調整額22,210千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。